

報道関係各位

2021年7月29日
株式会社インテージリアルワールド

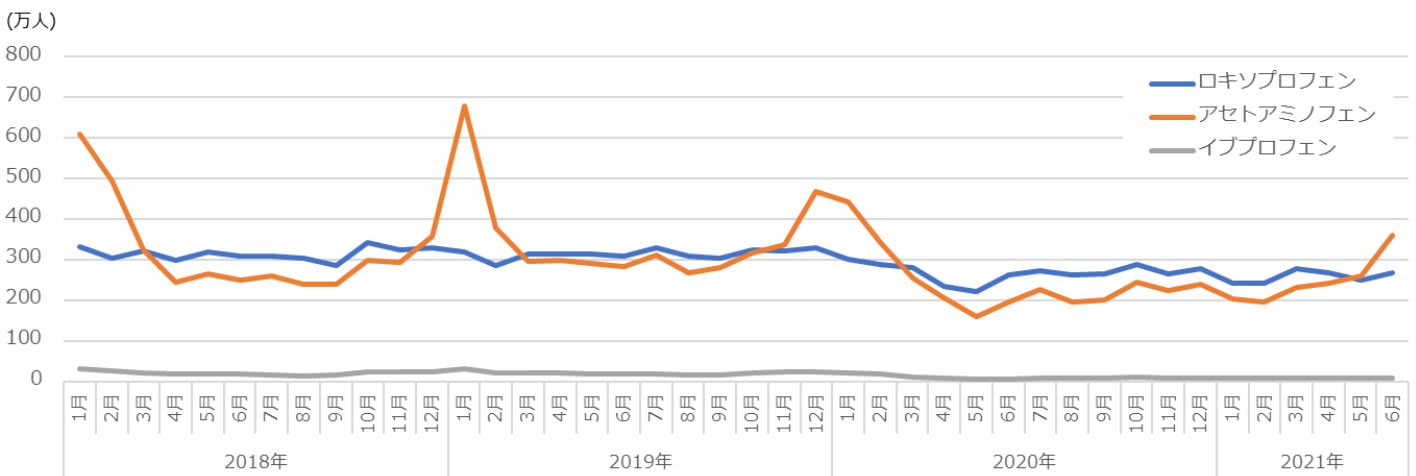
新型コロナワクチン接種の影響が アセトアミノフェン処方患者が前月比 38%の大幅増

医療情報分析サービスを手がける株式会社インテージリアルワールド（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤 暢章）は、独自に運用する統合医療データベース Cross Fact の 2021 年 6 月データを基に、新型コロナウイルスの感染拡大がレセプトデータに与えた影響を調査・分析しました。

新型コロナワクチンは 2 月に医療従事者への接種が開始されて以降、高齢者、65 歳未満へと広がり、7 月 20 日時点で国民の約 3 分の 1 にあたる 4,500 万人が 1 回目のワクチン接種を終えています。ワクチン不足の話も聞くようになりましたが、6 月以降 1 日の接種回数が 100 万回を超える日も増え、順調に接種は進んでいるようです。そんな中、接種後の発熱や痛みを中心とした副反応の話もよく聞くようになってきました。発熱や痛みが発生した場合に一般的に使われるのは解熱鎮痛剤であり、ワクチン接種の広がりや医療用医薬品の解熱鎮痛剤市場に影響を与えていることが推測されます。今回は解熱鎮痛剤としてよく用いられるアセトアミノフェン、イブプロフェン、ロキソプロフェンについて医療用医薬品市場の動向を見ていきます。

まず 2018 年 1 月から 2021 年 6 月までの月別推計患者数を見てみると、ロキソプロフェンとイブプロフェンは季節性のない薬剤で毎月ほぼ同水準の患者数となり、2021 年に入ってから大きな変動は無いようです。一方、アセトアミノフェンは新型コロナウイルスの感染拡大が始まった 2020 年 2 月以降、300 万人を下回る水準で推移していましたが、2021 年 6 月には前月比 38% 増と大きく患者数が増えています。

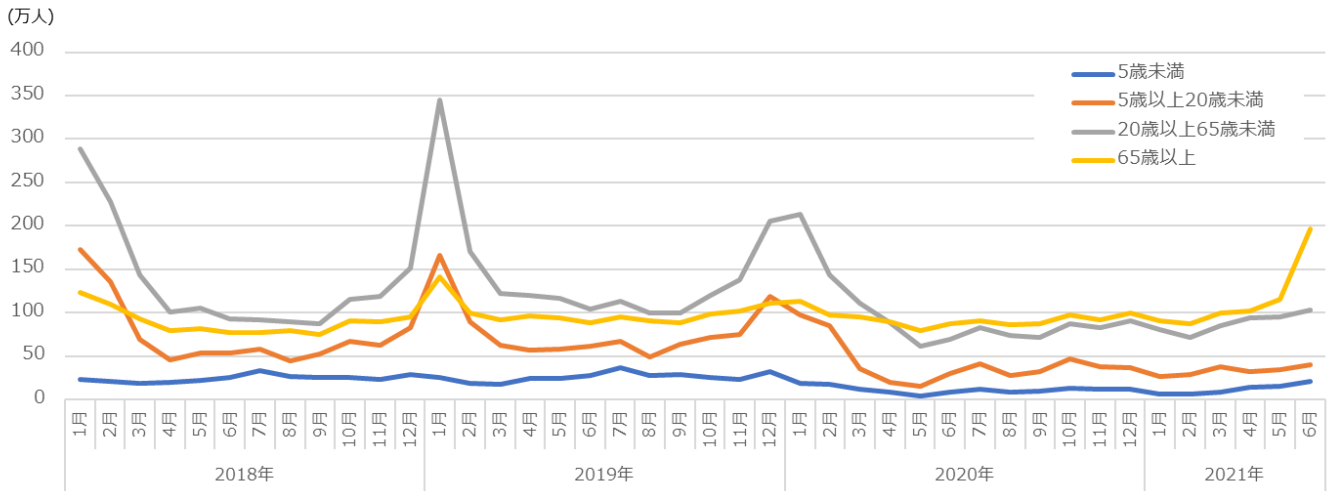
■ 解熱鎮痛剤の推計患者数推移



株式会社インテージリアルワールド Cross Fact

6月のアセトアミノフェン処方患者急増の要因は何だったのでしょうか。年代を4つの区分に分けアセトアミノフェンの推計患者数を見てみると、65歳以上の患者数が他の年代と比較し大幅に患者数が伸びていることがわかります。20歳以上65歳未満がやや増加傾向、5歳以上20歳未満がほぼ横ばいであることを考えると、65歳以上の患者数増はワクチン接種による発熱や痛みに対して処方されたものと考えて良さそうです。5歳未満も4月以降やや増加傾向ですが、これは例年よりも早く流行したRSウイルス等の感染症の影響であることが示唆されます。

■アセトアミノフェンの年代別推計患者数推移



株式会社インテージリアルワールド Cross Fact

医療機関だけでなく、大規模接種会場や職域接種により65歳未満のワクチン接種が進んでいます。現時点でワクチン接種が可能な12歳以上65歳未満の人口は高齢者の倍以上であり、高齢者よりも若年層で副反応が出やすいという報告もあることから、今後もアセトアミノフェンの処方数が増えることが想定されます。

新型コロナウイルス収束の切り札であるワクチン接種を安心して行うためにも、解熱鎮痛剤の安定供給は重要であると考えられます。インテージリアルワールドでは今後も変化をいち早く捉え、お伝えしてまいります。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社インテージリアルワールド 企画開発部 鹿島田

Eメール: pr-irw@intage.com Tel:03-5294-5990

株式会社インテージリアルワールド 会社概要

会社名 : 株式会社インテージリアルワールド

所在地 : 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ 13 階

代表者 : 代表取締役社長 佐藤 暢章

設立日 : 2005 年 7 月 14 日

資本金 : 1 億 8,825 万円 (株式会社インテージヘルスケア 100%出資)

事業内容 :

当社は 2005 年に設立以来、「医療消費者」視点を重視した医療情報データベースの運用・分析およびコンサルティングをテラーメイド、レディーメイドの両アプローチで「医療」のステークホルダーに提供しています。2021 年 7 月にインテージリアルワールドに社名を変更。さまざまな医療リアルワールドデータから必要なソリューションを開発し、よりタイムリーに多様な職種の方々に直接お届けしていくことで、医療リアルワールド業界のファストブランドを目指してまいります。

URL : <https://www.intage-realworld.co.jp/>